

2015年第95号

(2015.7.2)

## 2015年夏休み(7月15日～8月31日)の旅行動向

## 旅行意欲高く、国内旅行がけん引して 総旅行人数は過去2番目の7,816万人

- 国内旅行人数は、7,561万人(前年比+0.2%)
- 海外旅行人数は、255万人(前年比▲1.9%)
- 6年ぶりのシルバーウィーク(9月の5連休)で、9月の旅行も好調

JTBは、「夏休み(7月15日～8月31日)に、1泊以上の旅行に出かける人」の旅行動向の見通しをまとめました。

この調査は、1,200人から回答を得た旅行動向アンケート、JTBグループの販売状況、航空会社の予約状況、業界動向、経済動向から推計したもので、1969年に調査を開始して以来、今年で47回目となります。

調査結果は以下のとおりです。

(表1)2015年夏休みの旅行動向数値

	2015年夏休み			2014年夏休み	
	推計値	前年比	前年増減	実績推計	前年比
総旅行人数	7,816万人	+0.1%	11万人	7,805万人	▲1.0%
国内旅行人数	7,561万人	+0.2%	16万人	7,545万人	▲1.0%
海外旅行人数	255万人	▲1.9%	▲5万人	260万人	▲1.1%
国内旅行平均費用	34,700円	▲0.4%	▲150円	34,850円	▲0.5%
海外旅行平均費用	251,500円	+0.7%	1,700円	249,800円	+3.9%
総旅行消費額	3兆2,650億円	▲0.4%	▲139億円	3兆2,789億円	▲0.7%
国内旅行消費額	2兆6,237億円	▲0.2%	▲57億円	2兆6,294億円	▲1.5%
海外旅行消費額	6,413億円	▲1.3%	▲82億円	6,495億円	+2.7%

\* 旅行人数は、延べ人数数値。平均費用は一人1回あたりの費用

\* 国内旅行人数は宿泊を伴う旅行者の人数(観光および帰省目的の旅行に限る)

海外旅行人数は出国者数(業務目的の旅行を含む)

\* 国内旅行平均費用は、交通費・宿泊費・土産代・食費等の旅行中の諸費用を含む

\* 海外旅行平均費用は、燃油サーチャージ含む。旅行先での土産代等の現地支払費用は除く

## ＜2015年夏休み(7月15日～8月31日)の旅行の特徴＞ ※( )内の数値は前年比

### ◎ 旅行意欲は高く、国内旅行がけん引して総旅行人数は過去2番目

2015年の夏休みの旅行者動向における総旅行人数は、7,816万人(+0.1%)となり、2014年を上回り過去2番目となる見込みです。

総務省発表の5月の家計調査によると、2人以上の世帯の1世帯当たり消費支出は前年同月比4.8%増となり、2014年3月以来14か月ぶりに増加となりました。総務省は消費増税の影響がなくなったことに加え、消費の回復が支出増加につながったとみています。5月の有効求人倍率は、1.19倍となり(厚生労働省発表)23年ぶりの高水準と雇用環境も好転しています。また、2015年夏の経済状況をみると、夏期ボーナスの増加\*などにより所得の向上が見込まれます。今回実施した旅行動向アンケートの「旅行支出に対する意向」では、「支出を増やしたい」が16.0%と対前年比で3.5ポイント増加しました(表2)。旅行意欲は堅調であると考えられ、夏休み期間の国内旅行人数は7,561万人(+0.2%)と予想しています。しかしながら、円安傾向が続いていることや国際情勢や感染症などへの不安から、海外旅行人数は255万人(▲1.9%)の見込みです。

夏休みの旅行の同行者においては、「夫婦のみ」「三世代」「家族と友人・知人」が増えている一方で子供がいる世帯は減少しています(表3)。消費は回復しつつあるものの、5月の消費者物価指数が前年同月比で0.1%上昇(総務省発表)しており、光熱費や日用品などの値上げが影響していると考えられます。

また、JTBの国内・海外旅行の予約状況によれば、国内、海外ともに6年ぶりのシルバーウィーク(9月19日(土)～23日(祝)の5連休)に旅行を計画している人も多く、期間中のルックJTBの予約状況は、前年同期比で180%、エースJTB(首都圏発)では同288%と8月出発の旅行に先んじて旅行予約が好調です。前述のアンケートにおいても「旅行に行かない理由」として、「夏休み以外の時期に旅行する」が、15.4%で、2.7ポイント増加しています(表14)。今年の夏は、9月までを夏休みの期間としてとらえる人も多そうです。

\* シンクタンク各社の2015年夏のボーナス見通しは事業規模5人以上の民間企業で対前年比1.8%～2.4%増と予測されています。

(表2)今後の旅行支出に対する意向の変化(調査月ベース) ( )は前回との差/単位%

	今回(2015年6月)	前回(2014年6月)	前々回(2013年6月)
支出を増やしたい	16.0 (+3.5)	12.5 (▲4.1)	16.6 (+0.2)
同程度	単価を減らし回数を増やす	12.3 (▲0.3)	12.6 (▲0.7)
	単価を増やし回数を減らす	5.9 (▲0.2)	6.1 (▲0.2)
	単価も回数も同程度	34.4 (▲0.4)	34.8 (+0.3)
支出を減らしたい	27.5 (▲2.8)	30.3 (+5.5)	24.8 (▲2.1)

\*無回答があるため合計100%にはなりません。

(参考)ルックJTB(全国発計)シルバーウィークの予約状況 (人数、前年同月比、単位:%)

2015年6月26日現在

方面 出発日	アジア	中国	ハワイ	グアム・ サイパン	北米	欧州	大洋州	合計
9/19～9/23	430	635	125	195	183	110	205	180

(表3)夏の旅行の同行者 (単一回答)

	%	昨年差
家族づれ	67.0	▲ 0.8
子供づれ(中学生まで)	32.3	▲ 4.0
夫婦のみ	19.1	4.3
三世代	7.8	1.2
それ以外(母と娘など)	7.8	▲ 2.3
家族と友人・知人	10.3	4.4
友人・知人	13.4	▲ 1.6
団体(職場・地域など)	2.2	0.1
ひとり	4.9	▲ 2.8

<国内旅行の特徴>

◎ 出発ピークは、8月12日(水)～14日(金)

JTBの企画商品の予約状況によると、国内旅行の出発ピークは、8月12日(水)～14日(金)と見込まれます。

◎ 旅行の目的は、「帰省」、「温泉」、「自然や風景を楽しむ」。昨年より増加したのは、「観劇、イベント参加、スポーツ観戦」

アンケートの結果から、旅行の目的は、「帰省、離れて住む家族と過ごす」「温泉でゆっくりする」「自然や風景を楽しむ」が多く、「観劇、イベント参加、スポーツ観戦」(+1.1%)などが2014年よりも増加しています。JTBの企画商品の予約状況によれば、ねぶた祭りやよさこい祭りなど、旅行者も参加できる祭りを楽しむコースが前年より好調です。この時期にしか楽しめないイベントへの参加意欲は強いようです。

◎ 北陸新幹線効果で北陸や、サミット開催が決定した伊勢志摩が人気。

北陸新幹線開業の効果により、3月以降引き続き北陸が人気です。また、2016年5月のサミット開催が決まった伊勢志摩にも注目が集まっています。

## ◎ ふるさと旅行券が話題に

2015年4月から、順次全国で販売が開始されたふるさと旅行券（プレミアム付き旅行券）は、そのお徳感から、各地で売り切れが続出しています。また、インターネット販売や旅行会社店頭での申し込みも増加しており、地域への旅行需要の喚起に貢献しているといえるでしょう。

## ◎ 利用交通機関では、乗用車の利用が増加

アンケートによれば、国内旅行の利用交通機関として、今年は乗用車（レンタカー含む）を挙げる人が増加しました。昨夏よりガソリン代が下がっていることや、新しい高速道路の開通などが影響していると思われます（表4）。

**（表4）利用交通機関（海外旅行を除く）（複数回答）**

	%	昨年差
乗用車	70.9	5.6
*鉄道	21.0	▲ 3.4
JR新幹線	13.4	▲ 1.4
JR在来線・私鉄	12.0	▲ 2.3
飛行機	18.6	▲ 2.5
長距離バス・貸切バス	5.4	▲ 2.8
フェリー・船舶	2.4	0.3
その他	0.2	▲ 1.0

\* 乗用車にはレンタカー利用者を含む

\* 鉄道はJR新幹線とJR在来線・私鉄の重複回答者を除いてカウント

## <海外旅行の特徴>

### ◎ 出発ピークは 8月8日（土）、12日（水）、16日（日）

JTBの企画商品の予約状況によると、海外旅行の出発ピークは、欧州などの長距離方面は、8月8日（土）、ハワイや東南アジアなどの中距離方面は12日（水）、台湾やグアム・サイパンなどの近場の方面では16日（日）の出発が多いと見込まれます。

### ◎ 円安や感染症への不安から韓国への旅行は減少

円安や国際情勢の影響により、近年人気であった欧州やマレーシアへの旅行者が減少、また、感染症への不安から韓国への旅行者も減少しており、夏の旅行においてもこれらの傾向は変わらないと思われます。グアム・サイパンは減便の影響により前年に比べて減少しています。

◎ **ハワイ、台湾の人気の継続、オーストラリアなど航空路線が拡大となった方面が好調**

今年の夏の旅行はハワイや台湾の人気の継続しています。台湾は、短期間で行ける手軽さに加え、日本－台湾間が増便されたことから好調と考えられます。オーストラリアは、航空路線の拡大による影響、日豪経済連携協定（EPA）が結ばれたことによる業務渡航の増加も追い風になっているとみられます。また、昨年の路線拡大効果もあり、ベトナム方面も伸びています。

燃油サーチャージについては、2014年と比較すると8月発券分では、ハワイ・インドネシアで一人往復12,000円（▲20,000円）、台湾で一人往復5,000円（▲9,000円）となっています（表6）。

**（表5） 各年6月末現在の各国為替レート（単位：円）**

	15年	14年	13年	12年	11年	10年	09年	08年	07年
米ドル	123.96	102.36	99.59	80.31	82.02	90.32	97.01	107.42	124.26
ユーロ	136.99	139.81	130.03	100.24	117.79	112.17	137.03	169.57	167.14
英ポンド	197.03	176.63	154.30	127.12	133.54	138.55	163.54	216.35	250.88
100韓国ウォン	11.14	10.22	8.82	7.08	7.72	7.66	7.71	10.39	13.52
中国元	20.09	16.62	16.35	12.95	12.92	13.17	14.01	15.58	--

東京外国為替相場／T.T.Selling(三菱東京UFJ銀行調べ)

**（表6） 8月の燃油サーチャージ額の推移（日本航空の場合、往復、単位：円）**

	15年	14年	13年	12年	11年
韓国	1,000	5,000	4,000	4,400	6,000
中国	5,000	14,000	11,000	9,000	9,000
香港	5,000	14,000	11,000	12,000	17,000
台湾	5,000	14,000	11,000	12,000	17,000
グアム・サイパン	6,000	16,000	13,000	14,000	19,000
タイ・シンガポール・マレーシア	9,000	26,000	21,000	23,000	31,000
ハワイ・インドネシア	12,000	32,000	27,000	30,000	37,000
米国・欧州・中東・オセアニア	21,000	50,000	42,000	47,000	58,000

＜調査方法＞

調査地点： 全国200地点

調査実施期間： 2015年6月3日～15日

調査対象： 全国15歳以上79歳までの男女個人

サンプル数： 1,200名(1地点6名×200地点)

調査内容： 2015年7月15日から8月31日に実施する1泊以上の旅行

調査方法： 専属調査員による個別訪問調査(100%回収)

(表7) 2015年夏休み(7/15~8/31)海外旅行人数推計

(単位:万人)

	2015年	前年比	2014年	前年比	2013年	前年比
<b>総数</b>	<b>255</b>	<b>▲1.9%</b>	<b>260</b>	<b>▲1.1%</b>	<b>263</b>	<b>▲4.7%</b>

<b>アジア合計</b>		<b>135.0</b>	<b>▲3.2%</b>	<b>139.5</b>	<b>▲1.5%</b>	<b>141.6</b>	<b>▲12.9%</b>
中国		32.1	+1.9%	31.5	+1.0%	31.2	▲25.4%
韓国		25.7	▲19.2%	31.8	▲7.8%	34.5	▲24.3%
台湾		18.5	+2.2%	18.1	+7.1%	16.9	▲0.6%
香港		8.6	▲1.1%	8.7	+2.4%	8.5	▲23.4%
タイ		15.3	+2.7%	14.9	▲9.7%	16.5	+16.2%
シンガポール		8.2	+0.0%	8.2	+2.5%	8.0	+15.9%
インドネシア		4.1	+0.0%	4.1	+2.5%	4.0	▲11.1%
マレーシア		3.3	▲5.7%	3.5	+2.9%	3.4	▲12.8%
(その他)		19.2	+2.7%	18.7	+0.5%	18.6	+5.7%

<b>北米州合計</b>		<b>63.3</b>	<b>+0.2%</b>	<b>63.2</b>	<b>▲0.8%</b>	<b>63.7</b>	<b>+1.9%</b>
ハワイ		23.4	+0.9%	23.2	+0.0%	23.2	+2.7%
グアム・サイパン		14.3	▲2.1%	14.6	▲4.6%	15.3	▲3.2%
米国本土		22.2	+0.5%	22.1	+0.5%	22.0	+4.8%
カナダ		3.4	+3.0%	3.3	+3.1%	3.2	+3.2%

<b>欧州合計</b>		<b>43.2</b>	<b>▲1.4%</b>	<b>43.8</b>	<b>▲0.2%</b>	<b>43.9</b>	<b>+18.0%</b>
-------------	--	-------------	--------------	-------------	--------------	-------------	---------------

<b>大洋州合計</b>		<b>9.7</b>	<b>+2.1%</b>	<b>9.5</b>	<b>+0.0%</b>	<b>9.5</b>	<b>+0.0%</b>
オーストラリア		5.4	+1.9%	5.3	+0.0%	5.3	▲1.9%
ニュージーランド		1.1	+10.0%	1.0	+0.0%	1.0	+0.0%
南太平洋		3.2	+0.0%	3.2	+0.0%	3.2	+3.2%

<b>その他</b> (アフリカ・中南米等)		<b>4.2</b>	<b>+0.0%</b>	<b>4.2</b>	<b>▲2.3%</b>	<b>4.3</b>	<b>+2.4%</b>
------------------------	--	------------	--------------	------------	--------------	------------	--------------

\*各国政府・観光局発表の日本人入国者数ならびに法務省統計から推計

**(表8)利用宿泊施設(海外旅行を除く)**

(複数回答)

	%	昨年差
① ホテル	44.4	2.5
② 旅館	27.9	3.5
③ 実家・知人宅	21.8	▲ 4.2
④ 民宿・ペンション	13.1	0.5
⑤ その他	6.4	2.7

**(表9)利用交通機関(海外旅行を除く)**

(※p.4 表4再掲)

(複数回答)

	%	昨年差
乗用車	70.9	5.6
*鉄道	21.0	▲ 3.4
JR新幹線	13.4	▲ 1.4
JR在来線・私鉄	12.0	▲ 2.3
飛行機	18.6	▲ 2.5
長距離バス・貸切バス	5.4	▲ 2.8
フェリー・船舶	2.4	0.3
その他	0.2	▲ 1.0

\*乗用車にはレンタカー利用者を含む

\*鉄道はJR新幹線とJR在来線・私鉄の重複回答者を除いてカウント

**(表10)同行者**

(※p.3 表3再掲)

(単一回答)

	%	昨年差
家族づれ	67.0	▲ 0.8
子供づれ(中学生まで)	32.3	▲ 4.0
夫婦のみ	19.1	4.3
三世代	7.8	1.2
それ以外(母と娘など)	7.8	▲ 2.3
家族と友人・知人	10.3	4.4
友人・知人	13.4	▲ 1.6
団体(職場・地域など)	2.2	0.1
ひとり	4.9	▲ 2.8

**(表11)国内旅行先**

(単一回答)

	%	昨年差
北海道	6.1	▲ 1.2
東北	8.0	▲ 1.8
関東	20.2	3.6
甲信越	11.4	1.3
北陸	5.3	0.4
東海	13.3	5.3
近畿	11.1	▲ 1.1
中国・四国	9.5	▲ 1.5
九州	9.0	▲ 2.0
沖縄	6.1	4.0

(表12) 旅行目的

(単一回答)

	%	昨年差
① 帰省、離れて住む家族と過ごす	15.6	▲ 4.1
② 温泉でゆっくりする	13.7	▲ 0.8
③ 自然や風景を楽しむ	12.0	0.5
④ 家族や友人との親睦を深める	11.7	0.5
⑤ テーマパーク・レジャー施設	11.5	0.0
⑥ おいしいものを味わう	7.8	1.0
⑦ 海辺で保養、海水浴	6.1	0.0
⑧ 史跡や名所を見る	4.9	0.2
⑨ 観劇、イベント参加、スポーツ観戦	3.2	1.1
⑩ ハイキング・登山・キャンプ等	3.2	0.4
⑪ 高原で保養・避暑	2.7	0.6
⑫ 都会・都市で過ごす	1.7	1.0
⑬ クラブやサークルの旅行や行事	1.0	0.1
⑭ リゾートでエステやスパ	0.7	▲ 1.4
⑮ ボランティアに参加する	0.0	▲ 0.5

(表13) 旅行日数

(単一回答)

	%	昨年差
1泊2日	45.0	2.8
2泊3日	32.5	▲ 0.5
3泊4日	13.9	3.8
4泊5日	3.4	▲ 0.1
5泊6日	2.0	▲ 1.7
6泊7日	0.2	▲ 2.1
7泊8日	1.0	▲ 0.4
8泊以上	2.0	▲ 0.6

(表14) 旅行に行かない理由

(複数回答)

	%	昨年差
① 休暇が取れない	29.0	0.1
② 特に旅行したいとは思わない	23.9	▲ 2.4
③ 混雑する時期に旅行したくない	23.0	0.1
④ 家計の制約	22.5	2.3
⑤ 家の事情で離れられない	16.6	2.0
⑥ 夏休み以外の時期に旅行する	15.4	2.7
⑦ 暑い時期に旅行したくない	14.1	▲ 3.4
⑧ ペットがいるので家を離れられない	12.0	1.8
⑨ 家族等と休日が重ならず	9.4	▲ 0.7
⑩ 旅行商品や交通等の値段が割高	7.3	0.8
⑪ 今年は日帰り旅行をしようと思う	6.7	1.0
⑫ 物価が上がったので支出を控える	6.3	▲ 1.7
⑬ 家にいた方が楽しみが多い	3.9	▲ 1.2
⑭ 旅行以外にやりたいことがある	2.8	▲ 0.8
⑮ 希望する予約が取れない	1.5	0.3

(表15) 今後旅行の支出に対する意向の変化 (調査月ベース)

(※p.2 表2再掲)

( )は前回との差/単位%

	今回(2015年6月)	前回(2014年6月)	前々回(2013年6月)
支出を増やしたい	16.0 (+3.5)	12.5 (▲4.1)	16.6 (+0.2)
同程度	単価を減らし回数を増やす	12.3 (▲0.3)	12.6 (▲0.7)
	単価を増やし回数を減らす	5.9 (▲0.2)	6.1 (▲0.2)
	単価も回数も同程度	34.4 (▲0.4)	34.8 (+0.3)
支出を減らしたい	27.5 (▲2.8)	30.3 (+5.5)	24.8 (▲2.1)

\* (表8)(表9)(表14)は、複数回答のため合計が100%を超え、それ以外は、無回答があるため合計100%にはなりません。



(表 16) 夏休みの旅行動向発表数値の推移

	旅行人数(万人)			旅行平均費用(円)		総消費額
	総数	国内旅行	海外旅行	国内旅行	海外旅行	(億円)
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2000 (期間変更)	7,423	7,159	264	35,832	206,065	31,094
2001	7,562 1.9%	7,296 1.9%	266 0.8%	35,115 ▲ 2.0%	210,149 2.0%	31,210 0.4%
2002	7,612 0.7%	7,369 1.0%	243 ▲ 8.6%	33,654 ▲ 4.2%	213,091 1.4%	29,978 ▲ 3.9%
2003	7,535 ▲ 1.0%	7,347 ▲ 0.3%	188 ▲ 22.6%	33,923 0.8%	222,893 4.6%	29,113 ▲ 2.9%
2004	7,490 ▲ 0.6%	7,242 ▲ 1.4%	248 31.9%	34,975 3.1%	208,851 ▲ 6.3%	30,509 4.8%
2005	7,604 1.5%	7,365 1.7%	239 ▲ 3.6%	35,300 0.9%	214,600 2.8%	31,128 2.0%
2006	7,657 0.7%	7,410 0.6%	247 3.3%	35,716 1.2%	223,100 4.0%	31,977 2.7%
2007	7,662 0.1%	7,420 0.1%	242 ▲ 2.0%	36,200 1.4%	232,000 4.0%	32,474 1.6%
2008	7,572 ▲ 1.2%	7,348 ▲ 1.0%	224 ▲ 7.4%	35,800 ▲ 1.1%	249,000 7.3%	31,884 ▲ 1.8%
2009	7,353 ▲ 2.9%	7,128 ▲ 3.0%	225 0.4%	34,300 ▲ 4.2%	212,300 ▲ 14.7%	29,225 ▲ 8.3%
2010	7,669 4.3%	7,427 4.2%	242 7.6%	35,500 3.5%	222,100 4.6%	31,741 8.6%
2011	7,524 ▲ 1.9%	7,264 ▲ 2.2%	260 7.4%	33,260 ▲ 6.3%	227,300 2.3%	30,070 ▲ 5.3%
2012	7,736 2.8%	7,460 2.7%	276 6.2%	33,730 1.4%	231,400 1.8%	31,546 4.9%
2013	7,887 2.0%	7,624 2.2%	263 ▲ 4.7%	35,010 3.8%	240,420 3.9%	33,015 4.7%
2014	7,805 ▲ 1.0%	7,545 ▲ 1.0%	260 ▲ 1.1%	34,850 ▲ 0.5%	249,800 3.9%	32,789 ▲ 0.7%
2015	7,816 0.1%	7,561 0.2%	255 ▲ 1.9%	34,700 ▲ 0.4%	251,500 0.7%	32,650 ▲ 0.4%

\* 対象期間は7月15日～8月31日

&lt; 報道機関の方からのお問い合わせ先 &gt;

JTB 広報室 03-5796-5833